

# 事業のタネシート

活動地域・団体名：長野県根羽村

事業名称1：木から織物をつくる“木の布”プロジェクト		
あらすじ		
森林資源の新たな活用方法を通じて、付加価値の向上と根羽素材に触れる機会を増やす		
ストーリー		
木から織物をつくる“木の布”プロジェクト 2020年度より根羽村が新たに取り組むSDGsプロジェクト。大阪府に工場を構える株式会社和紙の布との事業連携を結び、杉材から木の布繊維に加工できる技術を活用、新たな木材資源の活用方法を創出します。第一弾プロジェクトでは、すでに商品を展開している株式会社いろどり（徳島県上勝町）と提携を結び、木材から作るタオル・マスクの製造/販売を進めています。		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	根羽村の地域材の使用量増加・付加価値向上による、森林整備の推進と源流の水質保全	商品開発、販路開拓
②課題	1.木材利用が減少していることにより、森林整備が進んでいない 2.環境に優しくない素材がアパレルなどで使われている	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	森林資源の付加価値を高めること、商品を通じて森林の価値に一般の人々に気付いてもらうこと、環境保全の大切さを世の中に伝えること	
④地域資源	森林資源	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	木の布、木の布を利活用した商品	
⑥担い手（Who）	根羽村森林組合	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	環境に優しい森林資源の普及を通じて環境保全に貢献、商品を通じて根羽村の存在を矢作川流域沿いにアピール、共感して下さった方々と繋がり森林保全を推進	販路開拓ができる人物、理念に共感してくれる企業との連携
⑧事業で生じる成果	売り上げ向上による新たな雇用創出、森林保全のPR	

事業名称2：山村での日常発信から環境に対する意識を高める「とあるねば」		
あらすじ		
映像やWEBなどのデジタルツールを活用した魅力や課題の共有		
ストーリー		
～コロナによるリモートワークの普及により、働きながら地域への滞在が物理的に可能となりワーケーションへのニーズや気運が高まっている。一方でユーザーヒアリングをする中で、ワーケーションの一番の課題が子育てとの両立であることが明らかになっている。山村での滞在を通じて、親は日中リモートワークをし、子供を現地の団体で預かり自然体験をさせる教育×ワーケーションのプログラムを2021年度から実施する予定～		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	森や自然と共存しながら暮らしている村の人々の日常にいかにかに尊くて、大切なことが詰まっているかを、村内の人も村外の人も知る。	なし
②課題	村内の人々の村に対する誇りが低下していること	
③なぜこの事業をやるのか (Why)	村民の生きがい向上、村内における協力者の増加、村外への認知拡大	
④地域資源	地域内で起きている行事・事業	
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)	根羽村PR事業	
⑥担い手 (Who)	一般社団法人 ねばのもり	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	地域の人々と経済的制限と時間的制限を解消することで、地域活動への参画を深めていく。テレワークを通じて人が集まる場ができることで、新たな事業の創出が期待できる。	なし
⑧事業で生じる成果	地域内の人々の村への誇りの向上 移住・定住希望者の増加	

事業名称3：教育 × ワークーション 親子でそれぞれ山村を楽しむ「ワデュケーション」		
あらすじ		
社会のワークーションに対してのニーズを捉え、森林×教育で親子にとって都会では過ごせない時間を提供		
ストーリー		
矢作川の水を守るために、1人1人の川に対する意識の向上、および環境課題を解決するための人材育成が必要となる。根羽村には場、体験コンテンツ、人がすでにいるため、これらをエコツーリズム事業として展開し、流域の教育機関や企業と連携しながら進めていく。		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	根羽村の自然や人々とのつながりを求める関係人口の創出	受け入れ体制、ビジネスモデルの創出
②課題	受け入れ態勢の整備	
③なぜこの事業をやるのか (Why)	森林資源を活用した売上の確保、および流域沿いの人々の環境意識の向上	
④地域資源	森、林業人、地域の宿泊滞在施設	
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)	教育、研修事業	
⑥担い手 (Who)	一般社団法人 ねばのもり、根羽村森林組合、地域の飲食店、ネバーランド、観光協会	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	地域内事業者やコンテンツが横繋がりて村の魅力を発信するプログラムを提供	アウトドア教育に詳しい人
⑧事業で生じる成果	研修フィールドの整備を通じて森林整備の推進、売上の確保による整備活動資金の確保、新たな雇用の創出、流域との連携事業の強化、人材の教育	